

教育に関する事務の管理及び執行状況の
点検・評価報告書
(令和5年度実績)

匝瑳市教育委員会

目 次

教育委員会関係

| | | |
|---|-----------|---|
| 1 | 教育委員会会議 | 1 |
| 2 | 学校訪問 | 3 |
| 3 | 匝瑳市総合教育会議 | 3 |

事務局関係

| | | |
|----|-------------------|---|
| 1 | 就学指導 | 3 |
| 2 | 児童・生徒健康診査 | 3 |
| 3 | 外国青年招致事業 | 3 |
| 4 | サタデースクール事業 | 3 |
| 5 | スクールカウンセラー設置事業 | 4 |
| 6 | 心の教室相談員活用事業 | 4 |
| 7 | 子どもサポート事業 | 4 |
| 8 | スクールソーシャルワーカー設置事業 | 4 |
| 9 | いじめ・不登校の状況 | 4 |
| 10 | 補助教員配置事業 | 5 |
| 11 | 外国語活動推進事業 | 5 |
| 12 | 放課後児童クラブ育成事業 | 5 |
| 13 | 放課後子ども教室推進事業 | 5 |
| 14 | 育英資金貸付事業 | 6 |

学校管理関係

| | | |
|---|---------------|---|
| 1 | 小・中学校施設維持管理業務 | 7 |
| 2 | 小・中学校施設整備事業 | 7 |
| 3 | スクールバス運行事業 | 7 |
| 4 | 遠距離通学費補助事業 | 7 |

学校教育振興関係

| | | |
|---|------------------|---|
| 1 | 就学援助 | 8 |
| 2 | 就学奨励 | 8 |
| 3 | 児童・生徒教育活動 | 8 |
| 4 | 学習用端末活用事業 | 8 |
| 5 | 校務支援システム活用事業 | 9 |
| 6 | 特色ある学校づくり推進事業補助金 | 9 |

幼稚園関係

| | | |
|---|-------------------|----|
| 1 | 幼稚園管理業務 | 10 |
| 2 | 特色ある教育の推進 | 10 |
| 3 | 運営改善 | 10 |
| 4 | 八日市場幼稚園とのさか幼稚園の統合 | 10 |

その他

| | | |
|---|----------------|----|
| 1 | 新型コロナウイルス感染症対策 | 11 |
| 2 | 学校保健 | 11 |

目 次

給食関係

| | | |
|---|----------------|----|
| 1 | 学校給食の実施状況 | 12 |
| 2 | 学校訪問の状況 | 12 |
| 3 | 施設維持管理業務 | 12 |
| 4 | 学校給食センター調理業務委託 | 12 |

社会教育関係

| | | |
|----|-----------------|----|
| 1 | 社会教育団体育成事業 | 14 |
| 2 | ふるさと自然散策道管理事業 | 14 |
| 3 | フロンティア学寮事業 | 14 |
| 4 | 二十歳のつどいの開催 | 15 |
| 5 | 文化財保護活用事業 | 15 |
| 6 | 青少年体験活動推進事業 | 15 |
| 7 | 青少年健康推進事業 | 16 |
| 8 | 家庭教育力活性化支援事業 | 16 |
| 9 | 生涯学習講座開催事業 | 16 |
| 10 | 立正大学との包括連携協定の締結 | 17 |

社会教育施設関係

| | | |
|---|--------------|----|
| 1 | 生涯学習センター管理業務 | 18 |
| 2 | 福祉センター管理業務 | 18 |

保健体育関係

| | | |
|---|--------------|----|
| 1 | スポーツ健康推進事業 | 19 |
| 2 | 体育関係団体運営補助事業 | 19 |

保健体育施設関係

| | | |
|---|--------------------------|----|
| 1 | 市営体育施設の貸出業務及び維持管理業務 | 20 |
| 2 | 都市公園球場の貸出業務 | 20 |
| 3 | 八日市場ドームの貸出業務及び維持管理業務 | 21 |
| 4 | ふれあいスポーツランドの貸出業務及び維持管理業務 | 21 |
| 5 | パークゴルフそうさの貸出業務及び維持管理業務 | 21 |

図書館関係

| | | |
|---|------------|----|
| 1 | 入館者数及び利用状況 | 23 |
| 2 | 読書普及促進事業 | 24 |

公民館関係

| | | |
|---|----------------|----|
| 1 | 公民館利用状況 | 26 |
| 2 | 市民ギャラリーの活用促進 | 26 |
| 3 | 高齢者教室（寿大学）開催事業 | 26 |
| 4 | 公民館講座開催事業 | 27 |
| 5 | 公民館まつり開催事業 | 28 |

教育委員会関係

1 教育委員会会議

(1) 会議の開催

定期的に教育委員会会議を開催し、教育委員会の事務事業や教育情勢の把握に努めるとともに、様々な教育課題について審議するなど、教育行政の推進・充実に努めた。

| | 定例会 | 臨時会 | 書面決議 | 合計 |
|----|-----|-----|------|----|
| 回数 | 12 | 1 | 1 | 14 |

(2) 審議内容等

| | 開催日 | 議案番号 | 議案名 |
|-------|----------------------------|------|---|
| 4月臨時会 | 4月3日 | 第1号 | 匝瑳市教育委員会委員の議席の指定について |
| 4月定例会 | 4月24日 | 第1号 | 匝瑳市特別支援連携協議会委員の委嘱について |
| | | 第2号 | 匝瑳市特別支援連携協議会委員の任命について |
| | | 第3号 | 匝瑳市教育支援委員会委員の委嘱について |
| | | 第4号 | 匝瑳市学校運営協議会委員の委嘱について |
| | | 第5号 | 匝瑳市学校運営協議会委員の任命について |
| | | 第6号 | 匝瑳市社会教育委員の委嘱について |
| | | 第7号 | 匝瑳市生涯学習センター運営審議会委員の委嘱について |
| | | 第8号 | 匝瑳市図書館協議会委員の委嘱について |
| | | 第9号 | 匝瑳市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について |
| | | 第10号 | 匝瑳市学校給食センター運営委員会委員の任命について |
| 第11号 | 令和5年度匝瑳市教育委員会基本方針について | | |
| 第12号 | 匝瑳市教育委員会顕彰規定に基づく顕彰者の決定について | | |
| 5月定例会 | 5月26日 | 第1号 | 海匝採択地区協議会委員の選任について |
| | | 第2号 | 匝瑳市育英資金返還猶予の承認について |
| | | 第3号 | 匝瑳市育英資金奨学生選考について |
| | | 第4号 | 匝瑳市社会教育委員の委嘱について |
| | | 第5号 | 匝瑳市体育施設の設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則の制定について |
| 6月定例会 | 6月21日 | 第1号 | 匝瑳市育英資金貸付の解除について |
| | | 第2号 | 匝瑳市地域部活動推進協議会委員の委嘱について |
| | | 第3号 | 匝瑳市市外小中学校等在籍者臨時給付金支給規則の制定について |

| | 開催日 | 議案番号 | 議案名 |
|--------|--------|--|---|
| 7月定例会 | 7月21日 | 第1号 第2号 第3号 | 令和6年度使用教科用図書の採択について 匝瑳市スポーツ推進審議会委員の委嘱について 匝瑳市体育施設運営委員会委員の委嘱について |
| 8月定例会 | 8月23日 | — | なし |
| 9月定例会 | 9月21日 | — | なし |
| 10月定例会 | 10月23日 | — | なし |
| 11月定例会 | 11月22日 | 第1号 | 匝瑳市教育委員会顕彰規定に基づく顕彰者の決定について |
| 12月定例会 | 12月21日 | 第1号 第2号 第3号 第4号 | 匝瑳市立小学校及び中学校管理規則の一部を改正する規則の制定について 匝瑳市教諭等の標準的な職務の内容及びその例並びに職務の遂行に関する要綱の制定について 匝瑳市立図書館の管理及び運営に関する規則の一部を改正する規則の制定について 匝瑳市立図書館資料複写サービス取扱要綱の制定について |
| 1月定例会 | 1月23日 | 第1号 第2号 第3号 | 匝瑳市教育委員会顕彰規定に基づく表彰者の決定について 令和6年度学校医・学校歯科医・学校薬剤師の委嘱について 匝瑳市学校運営協議会委員の委嘱について |
| 2月定例会 | 2月21日 | 第1号 | 匝瑳市立中学校「9か年精勤賞」受賞者の選考について |
| 3月定例会 | 3月21日 | 第1号 第2号 第3号 第4号 第5号 第6号 | 匝瑳市教育委員会顕彰規定に基づく表彰者の決定について 匝瑳市外国青年招致事業の外国語指導助手に係る取扱規則の一部を改正する規則の制定について 匝瑳市学校事務共同実施（学校間連携）要綱の一部改正について 匝瑳市社会教育委員の委嘱について 匝瑳市文化財審議会委員の委嘱について 匝瑳市生涯学習センター運営審議会委員の委嘱について |
| 3月書面 | 3月29日 | 第1号 | 匝瑳市教育委員会組織規則の一部を改正する規則の制定について |

2 学校訪問

教育委員と事務局が全学級の授業を参観し、各校の現状を把握するとともに課題解決等のため校長等との情報交換を行い、教育活動を支援した。

| 月 日 | 場 所 | 月 日 | 場 所 |
|--------|-------|--------|-------|
| 10月23日 | 豊和小学校 | 11月22日 | 野田小学校 |
| 1月23日 | 吉田小学校 | | |

3 匝瑳市総合教育会議

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、市長と教育委員会が連携を図り、教育の課題やあるべき姿を共有し、教育行政のさらなる充実・発展に努めた。

| 開催日 | 議 題 |
|------|----------------|
| 2月6日 | 匝瑳市教育大綱（案）について |

事務局関係

1 就学指導

心身に障害のある児童・生徒に対し、適正な就学指導を行った。また、匝瑳市教育委員会の諮問により匝瑳市教育支援委員会を開催し、適正な就学及びこれに係る必要な事項について調査、審議を行った。

2 児童・生徒健康診査

学校保健安全法の趣旨に基づき、学校医による内科健診、耳鼻咽喉科健診、眼科健診、学校歯科医による歯科健診、また、ちば県民保健予防財団による、尿検査、心電図検査、胸部X線検査、脊柱側弯症検査を行い、児童・生徒の健康保持増進を図った。

3 外国青年招致事業

進展する国際化に対応するため、市内3中学校に外国語指導助手を1名ずつ配置し、外国語教育の充実を図った。また、幼稚園や小学校低学年の英語活動にも派遣し、国際理解や国際交流を深める活動に取り組んだ。

4 サタデースクール事業

本年度から、年間を通して学年を問わず体験入校を可能としたことや、各小学校の目につく場所に募集ポスターを掲示してもらったことにより、年度途中での追加入校を促すことができた。

| 会 場 | 参加者数 |
|------------|------------------|
| 八日市場公民館 | 33人 |
| 市民ふれあいセンター | 25人 |
| 生涯学習センター | 15人 |
| 計 | 73人 (対前年度比較 ▲2人) |

5 スクールカウンセラー設置事業

児童・生徒、保護者や教員に対し助言や援助を行うため、スクールカウンセラーを延べ7人配置し、様々な悩みの解消や適応上の問題解決に努めた。

| | |
|------|---|
| 配置校等 | 八日市場小学校・野田小学校 八日市場第一中学校・八日市場第二中学校・野栄中学校 八日市場幼稚園・教育委員会 |
|------|---|

6 心の教室相談員活用事業

各中学校に非常勤講師を配置し、教育相談のほか、いわゆる保健室登校や会議室登校の生徒の指導に当たり、心の健康保持に努めた。

7 子どもサポート事業

不登校児童・生徒へ支援を行う適応支援教室を運営することで、欠席児童・生徒の居場所を確保するとともに、不登校の解消や児童・生徒、保護者の心理的負担の軽減に努めた。

8 スクールソーシャルワーカー設置事業

児童・生徒及びその家庭が抱えるいじめ、不登校、貧困等の様々な問題に対し、教育、社会福祉等の知識を有する専門職による支援及び助言を行った。

9 いじめ・不登校の状況

(1) いじめについて

早期発見・早期対応に努め、関係機関との連携を図りつつ、問題を抱える児童・生徒一人ひとりに応じた指導・支援を行い、問題解決に努めた。

| | | | |
|--------------|-----|-----|--------------|
| 令和5年度いじめ認知件数 | 小学校 | 44件 | (対前年度比較 +1件) |
| | 中学校 | 6件 | (対前年度比較 ▲4件) |

(2) 不登校について

専門の相談員による相談窓口を設置するとともに、学校と連携し、保護者へアドバイスをを行うなど、不登校児童・生徒数の減少に努めた。

不登校の中学校3年生(16人)については1人を除き進路先が決まり、次のステップに進むことができた。

| | | | |
|-----------|-----|-----|--------------|
| 不登校児童・生徒数 | 小学生 | 26人 | (対前年度比較 +5人) |
| | 中学生 | 34人 | (対前年度比較 ▲5人) |

<参考>

不登校は、年度間に連続又は断続して30日以上欠席者の中で、「何らかの心理的、情緒的、身体的、あるいは社会的要因・背景により、児童・生徒が登校しないあるいはしたくてもできない状況にある者」をいう。(ただし、「病気」や「経済的理由」による者を除く。)

10 補助教員配置事業

(1) 学習支援補助教員

特別な支援を要する児童・生徒のいる学校へ市の会計年度任用職員を配置することにより、対象となる児童・生徒への学習支援の充実を図った。

| | |
|-----|--|
| 配置校 | 平和小学校・椿海小学校・八日市場小学校・豊栄小学校 須賀小学校・共興小学校・吉田小学校・栄小学校・野田小学校 八日市場第一中学校・八日市場第二中学校・野栄中学校 |
|-----|--|

(2) 複式学級解消補助教員

豊和小学校・吉田小学校へ市の会計年度任用職員を配置し、複式学級の解消を図った。

11 外国語活動推進事業

小学校3・4年生の外国語活動及び5・6年生の外国語科の指導補助として市内全ての小学校に地域の英語に堪能な人材を市の会計年度任用職員として派遣することにより、児童が英語に慣れ親しみ、コミュニケーションへの意欲が高まった。

12 放課後児童クラブ育成事業

保護者の就労等により、放課後・土曜日・長期休業中に家庭において適切な保護を受けられない児童を対象として児童クラブを開設し、児童の生活の場を確保し、健全育成に効果があった。

また、児童クラブに配置する児童支援員・補助員数を前年度よりも増員することで、児童への支援の質の確保および現場職員の負担軽減を図った。

(令和5年5月1日現在)

| 児童クラブ名 | 在籍者数 | 児童クラブ名 | 在籍者数 |
|-----------|------|-----------|--------------------|
| 平和児童クラブ | 58人 | 椿海第一児童クラブ | 41人 |
| 八日市場児童クラブ | 94人 | 椿海第二児童クラブ | 34人 |
| 豊栄第一児童クラブ | 29人 | 野田児童クラブ | 73人 |
| 豊栄第二児童クラブ | 28人 | 栄第一児童クラブ | 29人 |
| 須賀児童クラブ | 78人 | 栄第二児童クラブ | 16人 |
| 共興児童クラブ | 37人 | 計 | 517人 (対前年度比較 ▲16人) |

| | | | |
|----------------|-------|-----|--------------|
| 児童支援員・児童支援補助員数 | 令和5年度 | 49人 | (対前年度比較 +5人) |
|----------------|-------|-----|--------------|

13 放課後子ども教室推進事業

小学校施設を使用し、児童に安全かつ安心な活動場所を提供することで、様々な学びや体験活動を通して生きる力の育成を図った。

(令和5年5月1日現在)

| 教室名 | 在籍者数 | 教室名 | 在籍者数 |
|-----------|------|---------|-------------------|
| 豊和子ども教室 | 47人 | 吉田子ども教室 | 34人 |
| 八日市場子ども教室 | 48人 | 計 | 129人 (対前年度比較 +1人) |

14 育英資金貸付事業

優秀な人材を育成することを目的に、経済的な理由により修学が困難な生徒・学生に対し、学資金の貸し付けを行った。

| 区 分 | | 貸付金額 | 人 数 |
|---------|---------|----------|-----|
| 高等学校 | | 月額 2万円以内 | 1人 |
| 高等専門学校 | 第1～第3学年 | 月額 2万円以内 | 0人 |
| | 第4・5学年 | 月額 3万円以内 | 0人 |
| 専修学校 | 高等課程 | 月額 2万円以内 | 0人 |
| | 専門課程 | 月額 3万円以内 | 0人 |
| 大学及び大学院 | | 月額 3万円以内 | 15人 |
| 計 | | | 16人 |

教育委員会の 評価

- ・就学指導については、健康管理課や福祉課、匝瑳市児童発達支援センターマザーズホーム等の関係機関と連携を図り、未就学児の保護者に対して早期に就学相談を始めたことで、一人一人に合った就学先へ向けることができた。今後も、関係機関と連携を図りながら進めていきたい。
- ・外国青年招致事業については、令和3年10月から採用しているALT3人を同じ中学校に継続して配置できていることで、各中学校の状況や生徒の実態に応じた指導・支援ができており、外国語教育の更なる充実に十分貢献している。
- ・スクールカウンセラーについては、県のスクールカウンセラーが小学校全校配置となっていることから、子どもたちの心理的ケアに対する早期対応が可能となっている。令和5年度には配置時数の増加、一部小学校の配置日数の増加があり、よりきめ細かな対応が可能となった。今後も市のスクールカウンセラーと連携して、一層の児童・生徒の様々な問題の解決に努めたい。
- ・いじめ認知件数は、小学校はほぼ横ばいで、中学校は昨年度から引き続き減少傾向にある。アンケートにより、被害者側の訴えから認知するケースが多いが、児童から直接相談を受けて認知するケースや保護者からの連絡により認知するケースもある。積極的に認知することにより、早期に対応できたり支援の目をむけることができたりしている。今後も毎月のアンケート調査だけに頼らず日常の観察や児童生徒との対話も十分にを行い、いじめの早期発見・早期解決に努めるよう指導していく。
- ・不登校児童・生徒数については、昨年度同様、コロナ禍以降の社会環境、家庭環境等、子どもを取り巻く様々な環境の変化を受け高止まり傾向にある。また、その要因も複雑化しており、学校のみならず、他の関係機関と連携を図り、対応していく必要がある。令和5年度も小学校における不登校児童数の増加が目立っており、注意深く経過を見ていくとともに、新たな課題に対する対応力の強化を図っていきたい。
- ・放課後子ども教室推進事業及び放課後児童クラブ育成事業では、年々増加する申込児童に対し、定員を超えて受け入れをしている教室・クラブも多く、児童の安全面を確保しつつ可能な限りで受け入れを行っている。今後も、利用希望に応えることができるよう、体制整備に努めたい。
- ・育英資金については、貸付人数が減少傾向にあるため、中学校3年生へのお知らせ配布やホームページへの掲載等による制度周知を行い、必要とする学生への貸付が適切に行われるよう、より一層の活用促進に努めたい。

学校管理関係

1 小・中学校施設維持管理業務

- (1) 施設設備保守管理委託業務を実施し、安全・安心な環境整備に努めた。
- (2) 学校警備委託業務を実施し、施設の安全確保に努めた。

2 小・中学校施設整備事業

八日市場第一中学校学校電気設備改修工事、小学校・中学校消防設備改修工事、小学校プールろ過装置修繕工事等、学校施設の整備を実施し、安全・安心な環境整備に努めた。

| | |
|-------------|--|
| 消防設備改修工事 | 平和小学校・椿海小学校・八日市場小学校・豊栄小学校 須賀小学校・吉田小学校・豊和小学校・栄小学校・野田小学校 八日市場第一中学校・八日市場第二中学校・野栄中学校 |
| プールろ過装置修繕工事 | 八日市場小学校・須賀小学校・栄小学校 |

3 スクールバス運行事業

小学校の統合に伴いスクールバスを運行することにより、米倉・飯高・匝瑳地区の児童の八日市場小学校への通学手段を確保したほか、登下校時の安全確保に努めた。

4 遠距離通学費補助事業

中学校までの通学距離が片道4km以上となる自転車通学の中学校1年生を対象に、自転車購入時に1人につき10,000円の補助を行い、各家庭の経済的負担の軽減に努めた。

該当生徒数 50人
(対前年度比較 +8人)

| 中学校名 | 該当生徒数 |
|-----------|-------|
| 八日市場第一中学校 | 17人 |
| 八日市場第二中学校 | 23人 |
| 野栄中学校 | 10人 |

教育委員会の評価

・令和5年度の学校施設の修繕については、当初予算と比べて決算額が大幅な増となっており、学校施設の老朽化に伴う修繕が増加傾向にある。市内小中学校については、建築から40年以上経過している校舎も多くこの傾向は続くと思われる。

・法定点検や各学校の自発的な点検によって発見された事項について、緊急性のあるものから順次修繕を実施している。令和5年度は特に水回りの修繕が多く、浄化槽、受水槽、高架水槽、消火水槽及びその周辺の管の老朽化による修繕が多く発生している。また、各学校とも雨漏りが発生しており、各学校の屋上の防水や雨水排水管の老朽化によるものと考えられる。浄化槽等の修繕や雨漏りの修繕については高額となることが多いため、適切な予算確保を行い施設の維持に努める必要がある。

・耐用年数を超過している学校の電気設備改修工事を計画的に進めている。令和5年度は八日市場第一中学校の電気設備改修工事を行った。今後も計画的な更新が必要となる。

・令和6年度には八日市場第一中学校エレベーター設置工事、小中学校へのスロープ設置工事を予定しており、施設のバリアフリー化について大幅な進捗が見込まれる。

・通学距離が長い生徒に対して行っている遠距離通学費補助金については、申請内容を匝瑳市遠距離通学費補助金交付要綱に基づき厳密に審査を実施し、公正な対応により保護者の負担軽減を図った。

学校教育振興関係

1 就学援助

経済的に就学困難な児童・生徒に対し、就学援助費の給付により義務教育への就学援助に努めた。保護者の経済的負担の軽減と児童・生徒の円滑な就学に効果があった。

| | 小学生 | 中学生 |
|----------|------------------|------------------|
| (1)学用品費等 | 167人(対前年度比較 ▲7人) | 103人(対前年度比較 +3人) |
| (2)医療費 | 3人(対前年度比較 ±0人) | 0人(対前年度比較 ±0人) |
| (3)給食費 | 162人(対前年度比較 ▲6人) | 94人(対前年度比較 ±0人) |

2 就学奨励

特別支援学級在籍児童・生徒の保護者等に対し、経済的負担を軽減するため、就学奨励費を支給した。充実した教育を受けるための条件づくりに効果があった。

| | 小学生 | 中学生 |
|------|--------------------|-----------------|
| 対象者数 | 125人(対前年度比較 +8人) | 46人(対前年度比較 ▲7人) |
| | 計 171人(対前年度比較 +1人) | |

3 児童・生徒教育活動

(1) 体力の向上、文化的資質向上のための各種行事

各種行事を開催することにより、日常の成果を発表する機会を設け、児童・生徒の心身の健康と学習に対する意欲向上を図った。

| 開催日 | 行事名 | 場 所 | 備 考 |
|-----------|--------------|---------|-----------------|
| 5月17日 | 匝瑳市小学校体育大会 | 東総運動場 | 運営方法を見直し観客ありで実施 |
| 11月15日 | 匝瑳市小中学校音楽発表会 | 八日市場ドーム | |
| 11月18・19日 | 匝瑳市小中学校作品展覧会 | のさかアリーナ | |

(2) キャリア教育の推進

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となっていた中学校2年生を対象にした社会体験学習を、4年振りに延べ115事業所で実施し、地域の中で、将来の生き方や職業観を育むことができた。

キャリア・パスポートを活用し、将来の夢と学業を結びつけ、学習意欲を喚起できた。

(3) 地域教材の作成と活用

社会科副読本編集委員会で作成した副読本やワークテストを、小学校3・4年生の地域の学習に活用することで、児童の郷土への興味関心が高まり、郷土愛の育成につながった。

4 学習用端末活用事業

GIGAスクール構想に基づき、児童生徒のパソコン学習のため、市内小中学校の一人一台パソコンや校内通信ネットワークの保守管理を行った。

円滑なICT教育を進めるため、教職員のスキルアップを目指し、情報担当教諭向け勉強会(Microsoft Teamsによる遠隔での勉強会)、また各学校での直接の勉強会を行った。

ネットワークについて、県からの依頼に基づきICT支援員による簡易帯域測定調査を行った結果、学習に必要な速度が得られていない学校があった。今後は次期端末整備にむけて、ネットワークアセスメントを行い、原因の特定・改善に努めていきたい。

5 校務支援システム活用事業

校務支援システムの運用により、出席簿・通知表・指導要録等を作成する上で、事務の効率化や正確性が図られ、教職員の業務多忙化の解消に効果があった。また、令和元年度からは学校保健業務の運用が開始されており、健康診断表や学校日誌の作成等、事務の効率化が進められている。

校務支援接続用のVPNルータ及びPC、大型提示用PCについて経年劣化による障害が懸念されるため機器の更新を行った。

校務支援システムについては、現在、学習系データと校務系データとの連携が困難であったり、いまだに紙ベースの業務が主流となっているといった諸問題を含め次世代校務支援システムについて文部科学省より示されている「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト」によるチェック等を行いながら検討を行っている。

6 特色ある学校づくり推進事業補助金

補助金を交付することにより、地域の人材や資源の活用など、特色ある学校教育活動が推進できた。

| | |
|----------------------|---|
| <p>教育委員会の 評価</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・就学援助認定者数は小学校では減少、中学校では微増となっているが、児童生徒数が減少しているため、認定者数の割合は年々増加傾向にある。今後も経済的に就学困難な児童・生徒を支援する観点でも、現在の状況を的確にとらえ、保護者の経済的負担が軽減できるようにしていきたい。 ・小学校体育大会は、コロナ禍において令和2年度には中止、令和3・4年度には内容を縮小し無観客での開催を余儀なくされていたが、令和5年度は運営方法を見直し、観客を動員して実施することができた。今後も、運営方法を工夫し、市内小学校児童の体力向上と交流を図っていきたい。 ・中学生の社会体験学習は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度から令和4年度までにかけて中止を余儀なくされていたが、関係機関や各事業所の協力により、令和5年度にはコロナ禍前と同様に実施することができ、中学生にとって貴重な体験となった。 ・学習用端末活用事業については、タブレット端末使用における教員間でのスキルの差を埋めるために研修、勉強会を行っている。これにより、タブレット端末の使用について不得意な教員のスキルアップが図られている。また、ICT支援員による各校の訪問による授業での支援補助により、スムーズな授業が行われ児童のスキルも高まっている。 ・校務支援システム活用事業については、校務DX化が学校の働き方改革を実現する上でも大きな役割を果たしうるものと考えられる。そのため、次世代校務支援システムの検討は重要な問題となる事から、引き続き校務DX化について検討していきたい。 |
|----------------------|---|

幼稚園関係

1 幼稚園管理業務

- (1) 施設設備保守管理委託業務を実施し、安全・安心な環境整備に努めた。
- (2) 幼稚園警備委託業務を実施し、施設の安全確保に努めた。

2 特色ある教育の推進

- (1) 未就学児・保育園（所）・小学校との交流
- (2) スクールカウンセラーによる教育支援
- (3) A L Tによる外国文化との触れ合い

3 運営改善

令和4年度から長期休業中（夏季休業、冬季休業）の預かり保育を八日市場幼稚園で実施している。
※長期休業中利用延べ人数 28日 131人（+12人）

4 八日市場幼稚園とのさか幼稚園の統合

のさか幼稚園の園児数の減少に伴い、令和5年3月にのさか幼稚園を廃園し、令和5年4月からは、八日市場幼稚園と統合した。

その他

1 新型コロナウイルス感染症対策

- (1) 市内の幼稚園及び小・中学校での共通理解・共通実践

令和5年5月8日から新型コロナウイルス感染症が、5類へ移行したことに伴い、学校での対応についても、校長・園長会議で協議をし、共通理解が図れるよう教育委員会から通知を発送した。

令和5年3月24日「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」の改定について(通知)

- (2) 感染予防のための消耗品・備品の購入
消毒アルコール、ハンドソープ等
サーキュレーター

2 学校保健

- (1) 市内の幼稚園及び小・中学校での共通理解・共通実践

新型コロナウイルス感染症の位置づけが、令和5年5月8日に2類相当から5類感染症に引き下げられたことから、中学校で中断されていた「思春期講演会」が八日市場第二中学校、野栄中学校で再開された。

- (2) 歯と口の健康図画ポスターコンクール

香取匠瑤歯科医師会管内歯と口の健康図画ポスターコンクールにおいて、匠瑤市からは、4部門のうち、3部門で最優秀賞を受賞した。

また、千葉県歯と口の健康図画ポスターコンクールにおいては、特別支援学校・学級中学の部において、千葉県歯科医師会長賞を受賞した。

| | |
|----------------------|---|
| <p>教育委員会の 評価</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・園児数の減少に伴い、のさか幼稚園を廃園し、令和5年4月から八日市場幼稚園と統合したが、入園児拡大のため、ポスターを作成し、市内商店などに掲示してもらうなど努力を続けている。1歳以上の未就園児を対象にひよこクラブ（未就園児教室）を年に数回開催し、魅力ある幼稚園の発信に努めている。 ・令和4年度から実施している幼稚園の長期休業中（夏季休業、冬季休業）の預かり保育は利用延べ人数が増えている。今後もニーズを把握し、より良い運営に努める。 ・新型コロナウイルス感染症が5類へと移行したことに伴い、感染拡大防止に努めながらも徐々に学校行事等を以前のように行うことができるようになってきた。 |
|----------------------|---|

| | |
|---------------|---|
| <p>有識者の評価</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・スクールカウンセラー事業では、小学校全校配置の県のスクールカウンセラーと市のスクールカウンセラーが連携して、児童・生徒の様々な問題の早期解決やケアに努めていただいている。特に、長く学校に関わってくれているカウンセラーは、家庭環境や保護者への対応についての経験も豊富である。いじめや不登校児童生徒などの対応についても児童生徒、保護者へのきめ細かな対応で、問題解決に努めていただいております、大変評価できる。引き続き関係者が連携を図りながら、児童生徒の様々な問題解決に努めていただきたい。 ・サタデースクール事業、放課後児童クラブ育成事業、放課後子ども教室推進事業等の指導員や支援員等については、ベテラン世代が多くなっているようなので、今後は、人員確保の課題もあるが、世代交代の検討も必要と考える。 ・学校施設等の老朽化が進んでおり、修繕が必要な箇所が多くなってきていると思う。避難場所になっている施設もあるので、修繕が必要な所は、早急な対応をしていただき、安全で安心して使用できる施設整備に努めていただきたい。 |
|---------------|---|

給食関係

1 学校給食の実施状況

学校給食法に基づき、児童・生徒の心身の健全な発達に寄与するため、安全・安心で栄養バランスの優れた学校給食の提供に努めた。

使用する食材は、児童・生徒が多く味の体験できるように多彩なものを選んだ上で、食べやすく、噛むことも意識できるように、味つけや調理方法など工夫を凝らした給食を提供した。

市内で生産、加工されている野菜・卵・肉等を食材として優先的に使用し、地産地消・食育の充実に努めた。

| 学校給食対象者数（令和6年3月現在） | | | | 単位：人 |
|--------------------|-------|-----|-----|-------|
| 幼稚園 | 小学校 | 中学校 | その他 | 合計 |
| 34 | 1,674 | 908 | 142 | 2,758 |

| 学校給食実施日数 | | | | 単位：日 |
|----------|-----|-----|-----|------|
| | 米飯 | パン食 | めん食 | 合計 |
| 予定日数 | 139 | 35 | 18 | 192 |
| 実施日数 | 139 | 35 | 18 | 192 |
| 増減 | 0 | 0 | 0 | 0 |

2 学校訪問の状況

学校給食センター職員による学校訪問を実施し、園児・児童・生徒の給食時の様子や声を聞きながら、献立内容の充実に努めた。

(1) 栄養士が喫食状況の把握及び栄養指導を実施した。

単位：回

| 幼稚園 | 小学校 | 中学校 | 合計 |
|-----|-----|-----|----|
| 1 | 23 | 0 | 24 |

(2) 所長、栄養士、調理員が配膳状況の確認や、献立や給食について、子どもたちの希望や感想などを集約した。

単位：回

| 幼稚園 | 小学校 | 中学校 | 合計 |
|-----|-----|-----|----|
| 1 | 9 | 3 | 13 |

(3) 栄養教諭等が、学校の要請により食育授業を実施した。

単位：回

| 幼稚園 | 小学校 | 中学校 | 合計 |
|-----|-----|-----|----|
| 0 | 4 | 0 | 4 |

3 施設維持管理業務

(1) 施設設備保守管理委託業務及び警備委託業務を実施し、安全・安心な環境整備に努めた。

(2) 衛生保守管理業務を実施し、食中毒予防対策に努めた。

4 学校給食センター調理業務委託

令和元年度から調理業務を民間事業者へ委託し、業務の一層の効率化を図っている。現在は、株式会社東洋食品に委託している。

| | |
|----------------------|--|
| <p>教育委員会の 評価</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・地産地消を基本として多彩な食材を選び、食育の充実を図った。 ・物価高騰のなか、地元の食材を優先的に、かつ、旬の食材を取り入れるなど、献立の質を維持しながら、安全安心で栄養バランスの良いおいしい給食を提供するよう努めた。 ・匝瑳市、旭市、銚子市の3市の児童・生徒が考案し応募された「和食レシピコンテスト」では、匝瑳市内から41点の応募があり、その中の3点が匝瑳市制施行日である1月23日に「おどる!?大匝瑳膳」として学校給食に提供したことで、給食に対する関心が高められた。 ・台南市政府教育局や、県外からの市議会議員が行政視察に訪れ、市の地産地消等に関する取組を説明し、意見交換が行われた。 |
|----------------------|--|

| | |
|---------------|---|
| <p>有識者の評価</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・食材費等の物価高騰の中で、給食費の値上げをせずに、地産地消を基本とした献立で給食の提供に努めていただいていることに感謝する。引き続き給食の質を落とさずに安全安心な給食の提供に努めていただきたい。 ・地元食材を使用した給食の提供時にテレビ等の取材が入るなど、メディアへの露出が増えていることなど、匝瑳市の給食のアピールにも繋がるので良いことだと評価できる。 |
|---------------|---|

社会教育関係

1 社会教育団体育成事業

(1) 匝瑳市PTA連絡協議会補助金

地域総合連携による青少年の健全育成と、安全で健やかな心身を育てる環境の整備を目的として、補助金を交付した。

市内PTA会員相互の親睦を図るため、8月20日(日)にバレーボール大会が開催された。教育懇談会は、「児童・生徒の健やかな成長のために、学校・家庭・地域がどのように連携していけばよいか」をテーマにグループ討議を行い、実りある懇談会となった。

(2) 文化会補助金

匝瑳市文化団体協議会への助成を通じ、文化・芸術活動の振興及び市民サークルの育成に努めた。

文化祭は、八日市場文化祭、野栄文化祭、生涯学習祭を開催した。野栄文化会では3月に視察研修を実施した。

成果発表の手段として、例年通り会報誌を発行した。

(3) 子ども会育成事業補助金

10団体 会員数476人

子ども会活動の充実を通して、子ども達の健全な成長を図るため、各地区の子ども会行事の研修費、運営費として助成を行い、子ども達の健全育成に努めた。

(4) 八匝少年少女発明クラブ運営補助金

修了生26人

創作活動を通じて、子ども達の科学的発想に基づく生活態度を育成するとともに、創造性豊かな人間形成を図ることを目的として補助金を交付した。

発明協会主催の「チャレンジ創造コンテスト」に挑戦したり、門松や凧など季節の作品を制作したりと、創意工夫して創作活動に取り組み、子ども達の創造性育成に努めた。

(5) ガールスカウト千葉県第98団運営補助金

ボランティア活動等の地域社会に根ざした活動を通して、少女たちの社会性を育てることを目的として補助金を交付した。

少女と女性が自ら考え学び、社会に役立つ行動がとれる人材育成を図った。

(6) ボーイスカウト匝瑳第1団運営補助金

自発的活動を通して、青少年が健康で社会に奉仕し得る能力と人生に役立つ技能を体得し実践できることを目的として補助金を交付した。

各年齢に応じた部門ごとに、年間を通して自然体験・生活体験・社会体験・奉仕活動を展開し、自発的活動を促すことによって、子ども達の心身の健やかな成長が図られた。

2 ふるさと自然散策道管理事業

ふるさと自然散策道の施設・駐車場等の維持管理を行うことにより、市内外からの集客と利便性の向上を図った。

3 フロンティア学寮事業

青少年相談員連絡協議会主催により、野田・栄・共興・平和・豊和・椿海地区の小学校5・6年生を対象に生涯学習センターを寮として、家庭を離れ共同生活を行う通学合宿を行った。

事業終了後の参加児童が書いたアンケートには、事業の継続を望むコメントが多く見られた。

参加人数：野田・栄地区(6/22~24) 学寮生 19人 青相・職員・ボランティア 26人

共興・平和地区(9/14~16) 学寮生 30人 青相・職員・ボランティア 28人

豊和・椿海地区(11/30~12/2) 学寮生 19人 青相・職員・ボランティア 29人

※八日市場小・豊栄小・須賀小・吉田小については、小学校5・6年生を対象とした「さふさ委員会」主催による通学合宿は、実施されなかった。

4 二十歳のつどいの開催

令和6年匝瑳市二十歳のつどいを対象者316人（出席者247人：78.2%）で1月7日に行った。

5 文化財保護活用事業

(1) 飯高檀林コンサート補助金

国指定重要文化財4棟を含む千葉県指定史跡である飯高檀林跡で質の高いコンサートを開催することにより、芸術文化の振興及び文化財保護の啓発を図ることを目的とする飯高檀林コンサートへ補助金を交付した。

(2) 重要文化財飯高寺管理事業補助金

事業主体 宗教法人 飯高寺

国指定重要文化財4棟を含む千葉県指定史跡飯高檀林跡を保全するため、火災報知・消火・避雷設備の保守点検に対する補助を行った。

(3) 文化財保存団体補助金

指定文化財の保存・継承・普及活動を担う保存団体に対して、各団体の経済的負担を軽減し、文化財保存・伝承活動を支援した。貴重な文化遺産の保護につながった。

市指定東郷神楽保存会

市指定野手囃子保存会

国指定木積箕づくり保存事業

県指定八日市場盆踊保存会

県指定仁組獅子舞保存会

史跡飯高檀林跡を守る会

市指定九十九里浜地曳大漁歌保存会

市指定八雲神社祭礼囃子保存会

(4) 文化財保存修理補助金

文化財の保存・修理に対する補助を行った。貴重な文化財の保護につながった。

市指定薬師寺楨保存事業

(5) 檀林大学

国指定重要文化財である飯高寺講堂を中心に、郷土の本物の魅力を再発見する「匝瑳学」を目指し、歴史や自然について学ぶ講義を実施した。

受講生 11人 聴講生 10人 回数 4回 延べ参加者数 43人

6 青少年体験活動推進事業

(1) 子ども映画会、人形劇

| | | |
|-------------------|------|------|
| 夏休み子ども工作教室（7月16日） | 参加者数 | 40人 |
| 人形劇（11月12日） | 参加者数 | 60人 |
| 計 | | 100人 |

新型コロナウイルス感染症の感染対策のため、子ども映画会を中止し、夏休み子ども工作教室をのさかアリーナにて行った。感染症対策に努め、小見川青少年自然の家の講師を招いた工作教室は、申込が殺到し、子ども達に大変好評であった。

(2) 自然観察会（新型コロナウイルス感染症の感染対策のため、内容を縮小して実施）

第1回目は匝瑳市宮本地区の里山ビオトープ散策を行った。参加者数は33人で好評であった。第2回目は吉崎浜海岸の生物の観察を行った。参加者数は48人でありこちらも好評であった。

7 青少年健康推進事業

- (1) わんぱくドッジボール大会（11月18日実施 参加者109人）
- (2) 市民オリエンテーリング大会（11月3日実施 参加者72人）

8 家庭教育力活性化支援事業

- (1) 家庭教育学級の開設 15学級
幼稚園、小学校及び中学校の保護者を対象に開設した。
- (2) 子育て講座の開催
保護者が参加しやすいよう参観日等の学校行事実施日に合わせ、学級生主体の計画により開催した。
また、就学時健康診断を子育てに係る啓発の機会と捉え、就学前後の基本的な生活習慣等の子育てに係る助言を行った。

| 講座名 | 実施回数 |
|----------|------|
| 幼児期子育て講座 | 16回 |
| 児童期子育て講座 | 44回 |
| 思春期子育て講座 | 12回 |
| 総計 | 87回 |

参加者数 2,472人

※ 幼児期子育て講座に保育園等出前講座2回を含む。

※ 総計には、家庭教育講演会15校（園）分の15回を含む。

(3) 家庭教育講演会の開催

家庭教育や子育てへの示唆を得る機会として有識者による講演会を開催した。

講師：塚本 浩司氏（千葉科学大学教授）

演題：「大道仮説実験〈しゅぼしゅぼ〉」

～予想を立てて実験すると…あーら不思議！！見えない●●が見えてくる！

参加者：208人（幼小中学級生のほか、他市行政関係者数名を含む）

これまでの講演会とは異なり、保護者からの要望を踏まえて親子で楽しめる「参加・体験型」の内容で企画・実施した。事後アンケートの結果からは、4段階評定で満点4点中、平均得点3.73点、特に「大変良い」「良い」と答えた肯定的な評価が97.5%にまで上った。今後も「家庭教育や子育て」に関わる内容を踏まえ、数年間のスパンの中で講演内容と形態をバランスよく考えていきたい。

9 生涯学習講座開催事業

(1) 生涯学習センター講座開設事業

| 講座名 | 回数 | 延受講者数 | 講座名 | 回数 | 延受講者数 |
|-------------|----|-------|---------------|----|-------|
| 楽しい絵手紙 | 7 | 30 | お菓子作り | 6 | 60 |
| おもしろ世界遺産 | 6 | 66 | ヨガ | 7 | 72 |
| ヒーリング・ピアダンス | 6 | 71 | やさしい琴 | 7 | 54 |
| 健康太極拳 | 7 | 171 | アロマストレッチと健康体操 | 7 | 65 |
| そば打ち | 7 | 34 | 男のスイーツ道場 | 2 | 12 |
| 親子休日チャレンジ | 12 | 224 | 簡単スマホ教室 | 0 | 0 |

講座の参加率は89.6%であった。新型コロナウイルス感染症対策に留意し、受講者が安心して参加できるように努めた。

(2) 野栄寿大学

台風の影響による警報が発表されたため、中止となった講座もあったが、学習計画に沿って積極的な学習活動を展開した。

会員数 64人

10 立正大学との包括連携協定の締結

立正大学との包括連携協定による連携事業の一環として、同大学主催「立正大学デリバリーカレッジ」が開催された。

本事業は同大学の教員、教授が「知的刺激と感動を得られる生涯学習」を提供しようと実施しているもので、普段大学で行われている講義を市民が自由に聴講でき、教育・文化の振興及び生涯学習の推進につながった。

第1回 令和5年11月25日(土) 13時～14時30分

講師：平井 壽子氏(立正大学地球環境科学部元教授)

講義内容：「ダイヤモンド号で行く地底1万キロの旅」

受講者：21人

第2回 令和5年12月2日(土) 10時～11時30分

講師：大島 英樹氏(立正大学法学部教授)

講義内容：「誰でも楽しめるタウン・ウォッチング」

受講者：22人

第3回 令和6年1月20日(土) 10時～11時30分

講師：大塚 昌利氏(立正大学名誉教授)

講義内容：「江戸のものづくり - 技術立国日本の礎はここにあり -」

受講者：25人

教育委員会の
評価

- ・生涯学習講座は、感染症対策に留意して多くの講座を開催することができた。
- ・家庭教育学級は、全15学級で開設をした。安全で参加しやすいことに配慮しながら、学級主体の学習計画により実施した。講演会においては、保護者からの要望を踏まえた親子参加型の内容で実施し、参加者から好評価を得られた。
- ・立正大学デリバリーカレッジは、令和4年度は2回の開催であったが、令和5年度は3回開催し、多くの受講者があった。
- ・子ども会育成事業は、コロナ禍により休会や退会となった子ども会があり、今後の子ども会の育成が課題である。

社会教育施設関係

1 生涯学習センター管理業務

(1) 生涯学習講座・行事の開催等、市民が生涯学習を楽しむ場として貸館を行った。

新型コロナウイルス感染症の影響がなくなってきたことから、利用件数、利用者数ともに前年度と比較して増加傾向にある。

| 開館日数 | 308 | (+2) | | |
|----------|-------|-------|----------------|--------|
| 区分 | 利用件数 | 利用人数 | ※ () 内は対前年度比較 | |
| 多目的ホール | 274 | (▲74) | 5,940 | (+91) |
| 調理実習室 | 95 | (+7) | 1,056 | (+100) |
| 講座室1・2 | 271 | (+20) | 2,770 | (+495) |
| 研修室 | 60 | (+8) | 448 | (+205) |
| 会議室 | 155 | (▲4) | 3,916 | (▲73) |
| 講座室A・B・C | 164 | (+34) | 2,166 | (▲719) |
| 資料室 | 136 | (+18) | 647 | (▲258) |
| 1Fロビー | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 全館 | 6 | (+3) | 242 | (+162) |
| 合計 | 1,161 | (+12) | 17,185 | (+3) |

(2) 生涯学習センター関連設備の修繕を行い、施設の適正な維持管理に努めた。

- ・自家発電設備経年劣化部品交換修繕
- ・トイレ便器修繕
- ・テレビアンテナ・ケーブル取替
- ・冷却塔ファン不具合修理
- ・受水槽マンホール部修繕
- ・防火水槽用給水ボールタップ修繕
- ・消防用設備修理

2 福祉センター管理業務

(1) 利用状況

| 区分 | 利用件数 | 利用人数 |
|---------|------|------|
| 娯楽室 | 43 | 347 |
| 研修室 | 0 | 0 |
| ボランティア室 | | |
| 和室 | 62 | 511 |
| 1階ロビー他 | 0 | 0 |
| 診察室 | | |
| 会議室 | | |
| 合計 | 105 | 858 |

(2) 野栄福祉センター関連設備の修繕を行い、適正な維持管理に努めた。

- ・消防用設備修理

教育委員会の評価

- ・新型コロナウイルス感染症の感染対策に留意して、利用者が安心安全に利用できる施設として館内の環境整備に努めた。
- ・各施設について、修繕箇所の把握を行い、設備改修及び修繕等を実施した。引き続き計画的に改修及び修繕等を行い、適正な管理に努めたい。

保健体育関係

1 スポーツ健康推進事業

各種スポーツ教室・大会を開催し、スポーツの普及促進を図るとともに、スポーツ関係団体と連携して、市民の健康・体力づくりに努めた。

(1) 各種教室関係

| 教室名 | 回数 | 延参加者数 | 教室名 | 回数 | 延参加者数 |
|---------------|----|-------|------------|----|-------|
| 卓球教室 | 17 | 218 | ラグビースクール | 43 | 696 |
| ジュニアバレーボール教室 | 37 | 421 | ジュニアサッカー教室 | 18 | 97 |
| 健康太極拳教室 | 20 | 376 | エアロビクス教室 | 20 | 655 |
| ヨガ教室 | 20 | 332 | バレーボール教室 | 32 | 338 |
| 中学生バスケットボール教室 | 1 | 63 | アイススケート教室 | 1 | 25 |
| 骨盤体操教室 | 10 | 231 | パークゴルフ教室 | 3 | 32 |
| 弓道教室 | 10 | 29 | バイタルフィット教室 | 17 | 110 |

(2) 大会・行事関係

| 開催日 | 大会・行事名 | 会場 | チーム・参加者数 |
|------------------|-----------------------|------------|-------------------------|
| 4/1(土) 4/2(日) | 春季少年野球大会 | みどり平公園野球場 | 4チーム・62人 |
| 4/16(日) | オーバーフォーティ婦人バレーボール大会 | 八日市場ドーム | 10チーム |
| 5/28(日) | ふれあい健康ウォーク(春) | 勝浦市 | 48人 |
| 6/18(日) | 県民の日記念婦人バレーボール大会 | 八日市場ドーム | 6チーム・77人 |
| 6/24(土) | 県民の日記念近隣中学校招待ソフトボール大会 | 八日市場第二中学校 | 廃止 |
| 6/25(日) | ユニカル大会 | のさかアリーナ | 12チーム・36人 |
| 7/2(日) | 少年少女サッカー交流大会 | 野手浜総合グラウンド | 17チーム・240人 |
| 7/9(日) | パークゴルフそうさサマーカップ | パークゴルフそうさ | 105人 |
| 7/30(日) | チャレンジフィッシング | 飯岡漁港 | 中止 |
| 8/27(日) | 少年少女剣道大会 | のさかアリーナ | 92チーム・276人 |
| 9/20(日) | パークゴルフそうさオータムカップ | パークゴルフそうさ | 74人 |
| 11/23(日) | 市長杯パークゴルフ大会 | パークゴルフそうさ | 一般の部61人 ファミリーペアの部14人 |
| 12/3(日) | ふれあい健康ウォーク(秋) | 君津市 | 54人 |
| 12/9(土) | 東総地区三市交流野球教室 | 銚子市野球場 | 177人 |
| 1/28(日) | パークゴルフそうさウインターカップ | パークゴルフそうさ | 95人 |
| 2/17(土) | 教育長杯タグラグビー大会 | 八日市場ドーム | 中止 |
| 2/25(日) | ニュースポーツ大会 | 八日市場ドーム | ギネスの部86人 カローリングの部32人 |
| 3/24(日) | パークゴルフそうさスプリングカップ | パークゴルフそうさ | 101人 |

2 体育関係団体運営補助事業

(1) 匝瑳市スポーツ協会運営費補助金

スポーツ協会が行う各種スポーツ大会等の活動を支援するため補助金を交付した。

| 事業内容 | チーム・参加者数 |
|----------------|----------|
| 市民体育大会の開催 | 1,650人 |
| 千葉県民体育大会への選手派遣 | 83人 |
| 匝瑳市健康マラソン大会の開催 | 荒天のため中止 |
| 東部五市体育大会への選手派遣 | 208人 |

(2) 匝瑳市総合型地域スポーツクラブ補助金

のさかスポーツクラブが開催する各種スポーツ教室・大会等の活動を支援するため補助金を交付した。なお、各種教室等には、延べ2,791人の会員が参加した。

| | |
|---------|--|
| 会員数 | 127人 (中学生以下2人・高校生以上65歳未満20人・65歳以上105人) |
| 教室 | ソフトバレーボール・バドミントン・ピアダンス・ウォーキング・ グラウンドゴルフ・ヨガ・ユニカール・体操 |
| 大会 | グラウンドゴルフ・ユニカール・ソフトバレーボール・バドミントン |
| 健康ハイキング | 年間4回(5/7、10/3、11/12、3/3) |

| | |
|----------|---|
| 教育委員会の評価 | <ul style="list-style-type: none"> ・各種スポーツ教室においては、幅広い年齢層の方が好みに応じたスポーツを楽しみ、健全で明るく豊かな生活を送ることに貢献した。 ・各種大会の開催により、市内外から多数の選手が参加し交流を深めるとともに、大会を盛り上げスポーツ振興に寄与した。 |
|----------|---|

保健体育施設関係

1 市営体育施設の貸出業務及び維持管理業務

(1) 市営グラウンドは八日市場第一中学校の部活動(野球部・テニス部)での利用が多い。

※()内は対前年度比較

| | 利用日数 | 利用件数 | 利用人数 |
|------------|-----------|-----------|----------------|
| 市営野球場(1面) | 204 (+3) | 215 (+5) | 1,509 (▲1,836) |
| テニスコート(5面) | 150 (▲41) | 165 (▲40) | 3,214 (▲1,842) |

(2) 野手浜総合グラウンドは土・日曜日を中心に、サッカーやラグビーでの利用が多い。

※()内は対前年度比較

| 利用日数 | 利用件数 | 利用人数 |
|---------|----------|--------------|
| 95 (▲6) | 140 (±0) | 4,907 (+418) |

(3) 市営グラウンドテニスコート改修工事

市営グラウンドテニスコートは、経年劣化が顕著であり、令和7年度に東部五市体育大会で使用予定であるため、改修工事を実施した。

2 都市公園球場の貸出業務

両球場ともに土・日曜日を中心とした利用が多く、外野の芝生部分では、グラウンドゴルフにも利用されている。

※()内は対前年度比較

| | 利用日数 | 利用件数 | 利用人数 |
|--------|-----------|-----------|----------------|
| 山桑公園球場 | 247 (▲9) | 264 (▲8) | 8,485 (▲1,246) |
| (うち夜間) | — | 49 (▲14) | 2,383 (▲504) |
| みどり平球場 | 246 (▲89) | 251 (▲95) | 5,049 (▲1,830) |

3 八日市場ドームの貸出業務及び維持管理業務

(1) 屋内スポーツ活動の拠点として、各種スポーツの普及・拡大と市民の体力向上を図りながら、八日市場ドームの効果的活用に努め、年間54,931人(対前年度比較 +6,172人)の利用があった。

(2) 自家発電設備更新工事

八日市場ドームの自家発電設備は、経年劣化により故障した状態であり、緊急時に対応できないため、更新工事を実施した。

| | |
|------|----------|
| 開館日数 | 294 (+2) |
|------|----------|

| 区分 | メインアリーナ | サブアリーナ | 選手控室 | 会議室 | 楽屋 | ジョギング | 合計 |
|----|---------|--------|-------|-----|----|-------|--------|
| 件数 | 644 | 886 | 227 | 103 | 9 | 1,324 | 3,193 |
| 人数 | 42,396 | 8,983 | 1,717 | 462 | 49 | 1,324 | 54,931 |

4 ふれあいスポーツランドの貸出業務及び維持管理業務

(1) スポーツや文化の各種行事等で、年間76,756人(対前年度比較 +18,298人)の利用があった。

(2) 文化ホール照明器具設備改修工事

のさかアリーナ文化ホールの照明器具は、経年劣化により故障した状態であったため、交換に伴いLED化を実施した。

| | |
|------|-----------|
| 開館日数 | 307 (+29) |
|------|-----------|

| 区分 | アリーナ | 文化ホール | トレーニングルーム | さざんか広場 | ジョギング | 合計 |
|----|--------|-------|-----------|--------|-------|--------|
| 件数 | 648 | 292 | 680 | 529 | 227 | 2,376 |
| 人数 | 53,663 | 5,906 | 680 | 16,280 | 227 | 76,756 |

5 パークゴルフそうさの貸出業務及び維持管理業務

市主催の四季大会をオープン参加とし利用者の増加を図り、65歳以上を中心とした14,817人(前年度比較+2,803人)の利用があった。

屋外スポーツのため、利用は天候に左右されるが、子どもから高齢者まで幅広く楽しめる競技であり、今後も各種大会や教室等を開催し、利用者増に努めたい。

| 開館日数 | 利用件数 | 利用人数 |
|------|-------|--------|
| 340 | 3,008 | 14,817 |

| | |
|----------------------|---|
| 教育委員会の 評価 | <ul style="list-style-type: none">・各体育施設は、市民が気軽にスポーツを楽しむ場として定着しており、各種スポーツの普及及び市民の体力向上と健康増進を図る機会場の場となっている。・各体育施設は、各種大会・イベント等に貸出しを行うことで、利用促進を図った。特にパークゴルフそうさは、各大会に市外から多数の方が参加し、利用者も増加した。・各施設について、経年劣化による設備改修及び修繕等を行った。市営テニスコートの改修工事を実施した。今後は施設毎の劣化状況を把握し、計画的に改修及び修繕等を行い、適正な管理に努めたい。 |
|----------------------|---|

| | |
|---------------|--|
| 有識者の評価 | <ul style="list-style-type: none">・フロンティア学寮事業は、コロナ禍の時に中止していたが、令和5年度から新型コロナウイルス感染症対策を十分に行った上で、実施できたことは、子ども達にとって非常に良い経験となったと思う。今後も継続して実施できるようにしていただきたい。・管理している社会教育施設や保健体育施設の利用促進を図っていただくためにも、安全安心な施設整備に努めていただきたい。・文化財保護活用事業については、匝瑳市教育大綱にもあるとおり、文化財の保護、活用を進めていただきたい。 |
|---------------|--|

図書館関係

1 入館者数及び利用状況

※ () 内は対前年度比較

(1) 時間別入館者数

単位：人

| 月 | 八日市場図書館 | | | のさか図書館 | | | | |
|----|---------|--------------------|--------------------|---------------------|-----|-----------------|----------|-----------------|
| | 9時～ | 17時 | 17時～ | 合計 | 9時～ | 17時 | 17時～ | 合計 |
| 4 | | 5,299 | 747 | 6,046 | | 567 | 0 | 567 |
| 5 | | 5,347 | 732 | 6,079 | | 612 | 0 | 612 |
| 6 | | 4,696 | 895 | 5,591 | | 502 | 0 | 502 |
| 7 | | 5,870 | 890 | 6,760 | | 779 | 0 | 779 |
| 8 | | 6,131 | 1,137 | 7,268 | | 946 | 0 | 946 |
| 9 | | 5,008 | 907 | 5,915 | | 640 | 0 | 640 |
| 10 | | 5,156 | 892 | 6,048 | | 537 | 0 | 537 |
| 11 | | 5,170 | 827 | 5,997 | | 606 | 0 | 606 |
| 12 | | 4,741 | 877 | 5,618 | | 497 | 0 | 497 |
| 1 | | 4,726 | 883 | 5,609 | | 591 | 0 | 591 |
| 2 | | 4,194 | 636 | 4,830 | | 501 | 0 | 501 |
| 3 | | 4,916 | 747 | 5,663 | | 588 | 0 | 588 |
| 合計 | | 61,254 (+7,391) | 10,170 (+4,081) | 71,424 (+11,472) | | 7,366 (+859) | 0 (0) | 7,366 (+859) |

(2) 図書館利用状況

| 月 | 開館 日数 | 貸出 人数 | 左の内訳 | | 貸出 点数 | 左の内訳 | | 学習室等 利用人数 | 左の内訳 | |
|----|-------------|--------------------|--------------------|-----------------|---------------------|---------------------|--------------------|-------------------|-------------------|---------------|
| | | | 八日市場 図書館 | のさか 図書館 | | 八日市場 図書館 | のさか 図書館 | | 八日市場 図書館 | のさか 図書館 |
| 4 | 25 | 3,615 | 3,324 | 291 | 16,383 | 15,131 | 1,252 | 318 | 308 | 10 |
| 5 | 26 | 3,473 | 3,175 | 298 | 15,921 | 14,538 | 1,383 | 384 | 350 | 34 |
| 6 | 25 | 3,650 | 3,349 | 301 | 17,322 | 15,806 | 1,516 | 425 | 371 | 54 |
| 7 | 24 | 3,768 | 3,404 | 364 | 18,228 | 16,369 | 1,859 | 713 | 612 | 101 |
| 8 | 26 | 4,084 | 3,693 | 391 | 18,303 | 16,222 | 2,081 | 834 | 715 | 119 |
| 9 | 24 | 3,478 | 3,198 | 280 | 16,769 | 15,112 | 1,657 | 566 | 507 | 59 |
| 10 | 24 | 3,618 | 3,337 | 281 | 16,011 | 14,600 | 1,411 | 648 | 612 | 36 |
| 11 | 25 | 3,629 | 3,326 | 303 | 16,659 | 14,831 | 1,828 | 776 | 720 | 56 |
| 12 | 22 | 3,231 | 2,980 | 251 | 15,161 | 13,747 | 1,414 | 799 | 768 | 31 |
| 1 | 21 | 3,472 | 3,196 | 276 | 15,930 | 14,614 | 1,316 | 700 | 636 | 64 |
| 2 | 19 | 2,977 | 2,703 | 274 | 13,735 | 12,172 | 1,563 | 437 | 392 | 45 |
| 3 | 26 | 3,865 | 3,544 | 321 | 16,863 | 15,400 | 1,463 | 360 | 320 | 40 |
| 合計 | 287 (±0) | 42,860 (+5,291) | 39,229 (+4,878) | 3,631 (+413) | 197,285 (+3,947) | 178,542 (+1,402) | 18,743 (+2,545) | 6,960 (+3,281) | 6,311 (+2,907) | 649 (+374) |

(3) 貸出登録者数 25,046人 (対前年度比較 +111人)

※ のさか図書館の夜間開館は休止した。

2 読書普及促進事業

感染症拡大予防の対策をとりながら、図書館資料の充実と整備を行い、利用者サービスの向上に努め、公共図書館の役割を果たすことに努めた。主催事業を再開し、利用者へのサービス拡大のため他図書館連携による相互貸出・借入を行った。

学校等との連携活動として、社会科見学や自由読書を受け入れた。テーマに沿った資料を選んで配送する配本サービスを行い、学校等との連携を深めることができた。

(1) 資料の整備等

| | | |
|-------|------|--------|
| 購入図書等 | 一般図書 | 4,326冊 |
| | 児童書 | 1,488冊 |
| | 雑誌 | 128誌 |
| | 新聞 | 15紙 |
| 寄贈図書等 | 一般図書 | 185冊 |
| | 児童書 | 44冊 |
| | 雑誌 | 6誌 |

令和6年3月31日現在 蔵書数

| | |
|---------|----------------------------|
| 蔵書総数 | 324,364冊 (対前年度比較 +103冊) |
| 八日市場図書館 | 287,704冊 (対前年度比較 ▲294冊) |
| のさか図書館 | 36,660冊 (対前年度比較 +397冊) |

(2) 複写サービス 894枚

(3) 予約・リクエストサービス 8,156冊

(4) 主催事業等

| 区分 | 内容 | | 開催月 | 延参加者数 | |
|--------------|-------------------|--------------|----------|-------|-----|
| 子ども向け | おはなし会 | 八日市場(毎週土曜日) | 5月～3月 | 264人 | |
| | | のさか(毎月第4土曜日) | — | 中止 | |
| | おはなしを楽しむ会(2回) | | 4月・12月 | 中止 | |
| | 読書感想文の書き方講座 | 八日市場 | 低学年・高学年 | 7月 | 26人 |
| | | のさか | | | |
| | 図書館たんけん(3回) | | 8月 | 29人 | |
| | 中学生社会体験学習(4回) | | 9月10月11月 | 6人 | |
| | 赤ちゃんと楽しむおはなし会(1回) | | 11月 | 26人 | |
| 人形劇を楽しむ会(2回) | | のさか1月 八日市場3月 | 226人 | | |
| 大人向け | 歴史ウォーク(1回) | | 10月 | 21人 | |

| 区分 | 内容 | 貸出冊数 | 延参加者数 |
|--------|--|--------|-------|
| 学校との連携 | 社会科見学・校外学習(4回) | — | 104人 |
| | 自由読書・団体貸出(32回) ※ 来館し自由に本を選び、団体として借りる。 | 1,750冊 | 508人 |
| 相互協力 | 千葉県立東部図書館・県内公共図書館間での相互貸借(毎週水曜日) 貸出 1,890冊(+88冊) 借入 520冊(▲34冊) 合計 2,410冊 | | |
| 配本サービス | 市内各教育機関等からの申込みにより、希望内容に応じた資料を選書し配本した。 78件(+38件) 3,540冊(+967冊) | | |

| | |
|----------|---|
| 教育委員会の評価 | <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症対策前に実施していた図書館主催事業を再開したことから、多くの参加申込があった。特に図書館たんけんは、定員を超える申し込みがあり追加開催をした。 のさか図書館のおはなし会を再開して児童の利用に努めたい。 貸出人数貸出点数が増加し、新型コロナウイルス感染症前に戻りつつある。今後も配本サービスなど学校との連携による取組を行い図書館の利用拡大に繋げていきたい。 |
|----------|---|

有識者の評価

- ・学校からの配本サービスは、要望した本を司書が選書して届けてくれる良いサービスなので、学校としても大変助かっており、感謝している。
- ・子ども向け事業の「図書館たんけん」については、普段は、見られない所を見ることができる良い機会となるため、引き続き続けていただきたい。

公民館関係

1 公民館利用状況

主催事業の充実を図るとともに、利便性に配慮し、サービスの向上に努めた。

| 月 | 開館日数 | 利用人数 | 利用件数 | | | |
|----|------|--------------------|--------------|----------------|--------------|-----------------|
| | | | 主催事業 | 社会教育団体 | その他 | 計 |
| 4 | 26 | 2,220 | 1 | 126 | 62 | 189 |
| 5 | 26 | 2,760 | 6 | 123 | 72 | 201 |
| 6 | 26 | 3,139 | 40 | 110 | 71 | 221 |
| 7 | 26 | 3,281 | 42 | 109 | 77 | 228 |
| 8 | 27 | 1,655 | 6 | 93 | 39 | 138 |
| 9 | 26 | 3,181 | 38 | 108 | 74 | 220 |
| 10 | 26 | 4,327 | 31 | 117 | 107 | 255 |
| 11 | 26 | 4,153 | 38 | 106 | 86 | 230 |
| 12 | 23 | 2,264 | 30 | 94 | 61 | 185 |
| 1 | 23 | 2,896 | 30 | 113 | 65 | 208 |
| 2 | 25 | 5,789 | 43 | 118 | 64 | 225 |
| 3 | 27 | 2,876 | 0 | 139 | 59 | 198 |
| 合計 | 307 | 38,541 (+3,092) | 305 (+33) | 1,356 (+54) | 837 (+27) | 2,498 (+114) |

2 市民ギャラリーの活用促進

幅広いジャンルの作品を発表する場として「市民ギャラリー」の利用促進に努めた。
また、小中学校の作品を展示する「匝瑳市小中作品展書写」を新たに開催した。

| 団体区分 | 利用団体数 | 主な内容 | 利用日数 | 来館者数 |
|--------|-------|---------------------|------|-------|
| 主催事業 | 2 | 『公民館まつり』『小中作品展』作品展示 | 6 | 218 |
| 社会教育団体 | 6 | 書道・美術・写真等作品展示 | 25 | 1,716 |
| 教育団体 | 2 | 高校生の書道・美術等展示 | 11 | 669 |
| 一般団体 | 2 | 書道・美術・写真等作品展示 | 7 | 749 |
| 官公署 | 4 | 写真・陶芸・各種作品等展示 | 26 | 983 |
| 合計 | 16 | | 75 | 4,335 |

3 高齢者教室（寿大学）開催事業

高齢者の交流と教養を高める場として、初心者から気軽に楽しめる生きがい講座を12講座開催し、開講式の際には講演会を開催した。

| 講座名 | コース名 | 回数 | 開催期間 | 延受講者数 |
|--------|-------------|----|-------|-------|
| 教養講座 | 開講式 | 1 | 5月 | 40 |
| 生きがい講座 | 民謡 | 7 | 6月～1月 | 135 |
| 〃 | 舞踊 | 7 | 6月～1月 | 50 |
| 〃 | 健康社交ダンス | 7 | 6月～1月 | 34 |
| 〃 | 健康麻雀 | 7 | 6月～1月 | 111 |
| 〃 | 健やかストレッチダンス | 7 | 6月～1月 | 119 |
| 〃 | 詩吟 | 7 | 6月～1月 | 50 |
| 〃 | カラオケ | 7 | 6月～1月 | 122 |
| 〃 | 編み物 | 7 | 6月～1月 | 88 |
| 〃 | 書道 | 7 | 6月～1月 | 55 |
| 〃 | 川柳 | 7 | 6月～1月 | 57 |
| 〃 | 俳句 | 7 | 6月～1月 | 61 |
| 〃 | 短歌 | 7 | 6月～1月 | 65 |
| 合計 | | 85 | | 987 |

4 公民館講座開催事業

アンケート等の要望をもとに36教室を開催し、多くの市民が楽しく参加できるよう講座の充実に努めた。また、ホームページや広報紙のほか、館内ロビー等を活用した情報発信により、受講者数の増加を図った。

| 教室名 | 回数 | 開催期間 | 延受講者数 |
|----------------|-----|-----------|-------|
| 太巻き寿司（初級） | 4 | 6月～10月 | 33 |
| 太巻き寿司（中級） | 3 | 11月～1月 | 17 |
| 親子やさしいパンづくり | 1 | 4月 | 10 |
| | 1 | 7月 | 8 |
| 楽しむ民謡 | 7 | 6月～1月 | 97 |
| 茶道入門 | 7 | 6月～1月 | 60 |
| やさしい生け花 | 3 | 6月～9月 | 24 |
| 書道 | 7 | 6月～1月 | 89 |
| 将棋 | 4 | 6月～9月 | 28 |
| 楽しいコーラス | 7 | 6月～1月 | 97 |
| 琴（初級） | 7 | 6月～10月 | 73 |
| バラ入門 | 4 | 6月～1月 | 41 |
| 盆栽入門 | 6 | 5月～1月 | 43 |
| 初歩からの陶芸 | 7 | 6月～9月 | 94 |
| 初歩からの七宝焼 | 7 | 6月～1月 | 93 |
| はじめてのビーズアクセサリー | 2 | 6月～9月 | 9 |
| ビーズアクセサリー初級 | 3 | 6月～9月 | 14 |
| パッチワークキルト | 7 | 6月～1月 | 34 |
| 楽しい絵手紙 | 7 | 6月～1月 | 24 |
| 楽しいガラス絵 | 7 | 6月～1月 | 37 |
| ちぎり絵 | 1 | 6月 | 12 |
| | 1 | 9月 | 5 |
| 楽しい花結び | 7 | 6月～1月 | 84 |
| 吉祥花文字 | 7 | 6月～1月 | 36 |
| アメリカンフラワー | 7 | 6月～1月 | 71 |
| こども造形 | 1 | 5月 | 37 |
| | 1 | 7月 | 21 |
| 前期アロマセラピー | 2 | 5月～6月 | 29 |
| 後期アロマセラピー | 2 | 10月～11月 | 45 |
| はじめてのスマートデバイス | 1 | 5月 | 10 |
| | 1 | 7月 | 7 |
| | 1 | 11月 | 12 |
| | 1 | 2月(9月分振替) | 11 |
| ピアダンス | 7 | 10月～1月 | 24 |
| 健康アロマストレッチ | 7 | 6月～9月 | 60 |
| 癒しのヨーガ | 7 | 6月～9月 | 117 |
| ヨガ健康ストレッチ | 7 | 6月～1月 | 70 |
| ヨガを身近に！はじめてのヨガ | 1 | 5月 | 20 |
| | 1 | 7月 | 14 |
| | 1 | 11月 | 18 |
| 匠瑤の文化財を知る | 3 | 9月～11月 | 42 |
| 干支ひょうたんづくり | 1 | 11月 | 18 |
| しめ縄づくり | 1 | 12月 | 32 |
| 公民館移動教室 | 1 | 1月 | 15 |
| 合計 | 171 | | 1,735 |

5 公民館まつり開催事業

講座受講生とサークル会員が1年間の学習及び活動の成果を発表する「公民館まつり」を2日間にわたり開催し、多くの市民に活動等の内容を周知することができた。

開催日 2月3日(土)・4日(日)

| | |
|-----------------|--|
| <p>教育委員会の評価</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症が、5類感染症へ移行したこともあり、公民館利用者が感染症流行前に戻りつつある。 また、前年度、制限があった公民館まつりは、制限のない通常の公民館まつりとして開催されたことから、公民館講座や公民館サークルの公民館まつり参加受講生が、活気的な様子であった。 ・公民館主催講座は、大人向け講座が多いことから、今後、子ども向けの講座を企画検討し、幅広い年齢層を意識した主催事業の充実を図っていきたい。 ・新たに公民館主催事業として、小中学校の作品を展示する「匝瑳市小中作品展書写」を開催した。今後は、美術作品も展示して、児童生徒の利用に努めていきたい。 |
|-----------------|--|

| | |
|---------------|--|
| <p>有識者の評価</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・公民館講座について、受講者数、登録講師などから企画を検討し、新旧講座の入れ替えを行い、実施できていることは、評価できる。 ・「こども造形教室」など子ども向け講座が好評を得ているので、回数を増やすなど企画内容を検討し、開催できるように努めていただきたい。 |
|---------------|--|

匝瑳市教育大綱

この大綱は、「海・みどり・ひとがはぐくむ 活力あるまち 匝瑳市」を目指し実現するため策定した匝瑳市総合計画前期基本計画の基本目標「個性豊かに学び、人々が輝くまちをつくる」を推進するものです。

【学校教育の充実】

- ・ 他人を思いやる心、すべてのいのちを尊重する心を持ち、多様な人々と協働しながら、豊かな人生を切り拓く人材を育成します。
- ・ 様々な社会的変化を乗り越え、社会の創り手となる人材を育成するため、学校・家庭・地域が連携しながら、確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和のとれた育成を図ります。
- ・ 匝瑳で暮らし、育つことが「ふるさと匝瑳」への愛着につながるよう、匝瑳の自然、歴史、文化及び産業の学びを通して地域への理解を深めるとともに、郷土を誇りに思い、大切に作る気持ちをはぐくむ教育を推進します。

【生涯学習・生涯スポーツの推進】

- ・ 生涯を通じて、心身ともに健康で心豊かな生活を送れるよう、多様な学習活動やスポーツがいつでもどこでもできる環境づくりを推進します。
- ・ 組織や団体の育成に努め、市民が主体的に活動する生涯学習・生涯スポーツ社会の構築を促進します。

【地域文化の振興】

- ・ 誰もが文化や芸術を身近で味わい、豊かでうるおいのある暮らしを実感するため、各種団体による活動への支援や、優れた芸術文化に接する機会の提供を図ります。
- ・ 地域の歴史と風土に根ざした文化資源を地域文化の振興に活用しつつ後世に伝えていくため、各種団体と連携しながら有形・無形の貴重な歴史文化遺産の保護に努めます。

大綱の期間

令和2年4月1日から令和6年3月31日まで

令和2年1月17日

匝瑳市長 太田安規

匝瑳市教育大綱

この大綱は、「海・みどり・ひとがはぐくむ 活力あるまち 匝瑳市」を目指し実現するため策定した第2次匝瑳市総合計画中期基本計画の基本目標「個性豊かに学び、人々が輝くまちをつくる」を推進するものです。

【学校教育の充実】

- ・ 他人を思いやる心、すべてのいのちを尊重する心を持ち、多様な人々と協働しながら、幸せや生きがいを感じることができる豊かな人生を切り拓く人材を育成します。
- ・ 予測困難な時代を乗り越え、持続可能な社会の創り手となる人材を育成するため、学校・家庭・地域が連携しながら、確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和のとれた育成を図ります。
- ・ 匝瑳で暮らし、育つことが「ふるさと匝瑳」への愛着につながるよう、匝瑳の自然、歴史・文化及び産業の学びを通して地域への理解を深めるとともに、郷土を誇りに思い、大切に作る気持ちをはぐくむ教育を推進します。

【生涯学習・生涯スポーツの推進】

- ・ 生涯を通じて、健康で心豊かな生活を送れるよう、多様な生涯学習・生涯スポーツ活動の機会を提供するとともに、その成果を適切に活かすことのできる環境の充実を図ります。
- ・ 青少年の健全育成に携わる活動組織や団体の育成に努め、家庭・学校・地域等と連携して青少年の健全育成を図るとともに、市民が主体的に活動する生涯学習・生涯スポーツ社会の構築を促進します。

【地域文化の振興】

- ・ 誰もが文化や芸術を身近で味わい、心の豊かさや暮らしに潤いを実感できるよう、各種団体による活動への支援や、優れた芸術文化に接する機会の充実及び参加促進を図ります。
- ・ 地域の歴史と風土に根ざした文化資源を地域文化の振興に活用しつつ後世に伝えていくため、各種団体と連携しながら有形・無形の貴重な歴史文化遺産の保護・活用に努めます。

大綱の期間

令和6年4月1日から令和10年3月31日まで

令和6年2月6日

匝瑳市長 宮内康幸

匝瑳市教育委員会委員名簿

| 職 名 | 氏 名 |
|----------|---------|
| 教 育 長 | 二 村 好 美 |
| 教育長職務代理者 | 有 田 光 |
| 委 員 | 及 川 順 央 |
| 委 員 | 大 木 睦 子 |
| 委 員 | 小 作 広 子 |

(令和6年4月1日現在)

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」(第26条)の規定により、教育委員会は、教育に関する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することとされています。

匝瑳市教育委員会では、令和5年度における事務の管理及び執行の状況について、学識経験者から意見をいただきながら、点検及び評価を実施し、その結果をまとめました。

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律(抜粋)

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第三項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

点検及び評価有識者会議委員名簿

| |
|---------|
| 寺 嶋 清 一 |
| 小 関 和 雄 |
| 矢 澤 敏 和 |
| 鈴 木 敦 |